

令和2年度

租税教育実践発表会資料

石巻市立住吉中学校
教諭 木田 昌子

1 はじめに

国民生活や経済社会と密接に関連する税は、私たちの暮らしや社会に欠かせない公共サービスを提供する国や公共団体の活動の財源であり、国の様々な制度の中でも根幹的なものである。

新学習指導要領「私たちと経済(2)国民の生活と政府の役割」では、アの(イ)の財政及び**租税の意義、国民の納税について理解すること**については、「財政の歳入・歳出における内容や現状を具体的に取り上げ…(中略)、現役世代のみならず将来世代をも含め、持続可能な社会の形成に資することも念頭に、人々の生活を保障する国民福祉の観点に立って行われるべきものであることを理解できるようにするとともに…

(中略)、国民が納税の義務を果たすことの大切さを理解できるように…(中略)、納税者としての自覚を養うことが大切である」と示している。

租税教育を通して、税の使いみちや必要性を理解させ、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化とその財源の確保の問題をどのように解決していったらよいか、税の負担者として自分の将来と関わらせて考えさせたい。

2 生徒の実態

租税教育を実践するにあたって、税に関するアンケートを実施した。(23人実施)

問1 税金について、どのようなイメージをもっていますか。

良いイメージのもの

- ・施設や道路を作ったり、直したりするためのもの(2人)
- ・医療費や教育費などに使われている(2)
- ・国を支えるもの(1)
- ・必要なもの(1)

悪いイメージのもの

- ・高い(7)
- ・払わされている(5)
- ・無駄が多い(3)
- ・偉い人が自分のために使っている(2)
- ・面倒くさい(2)
- ・悪いイメージ(1)

その他

- ・国のお金(2)
- ・議員の給料(1)

問2 税金の種類について知っているものはありますか。

消費税(18)、所得税(8)、酒税(5)、たばこ税(4)、相続税(2)、関税(2)、国税(2)、県民税、市町村税、入湯税、固定資産税

問1から、全体的にマイナスイメージが強いことが分かる。「桜を見る会」や「アベノマスク」、議員による収賄罪などのニュースの影響で、無駄に使っていると思っている生徒がいる。自分たちのためにどう使われているかということが理解できていないと考えられる。問2から、自分が払っていることから消費税が圧倒的に多かった。

3 指導にあたって

- (1) 「私たちの暮らしと税」を活用する。
- (2) 税の使いみちについて、正しい知識を身に付けさせ、税の必要性を理解させる。
- (3) 少子高齢社会における社会保障の充実・安定化とその財源の確保の問題をどのように解決していったらよいか、税の負担者として自分の将来と関わらせて考えさせる。

4 学習過程

段階	学習活動	学習の様子・指導上の留意点
導入	1 税金クイズ 「私たちと暮らしの税」の表紙のクイズ	 
展開	2 学習課題の提示 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">税金はなぜ必要なのだろうか</div> 3 もし税金がなかったら (1) 平均的な家計の収支を確認する。	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 4人家族（夫婦と子ども2人）の平均的な1か月の家計の収支を提示する。 ※総務省家計報告2017年度より

	<p>(2) 税金がなかったら、負担がどれだけ増えるか確認する。</p> <p>①令和2年度の国の歳出から国民1人当たりいくらかを計算し、4人家族で1か月いくらになるかを計算する。</p> <p>歳出102兆6580億円÷1.2億人×4人÷12か月=285,161円</p> <p>②宮城県の令和2年度の歳出の県民1人当たりの負担を4人家族で1か月いくらになるかを計算する。</p> <p>493,300円×4人÷12か月=164,433円</p> <p>③ ①と②を足す。</p> <p>④時間があれば、中学生が2人いる場合、教育費がいくらかかるかを計算する。また、自分のきょうだいの構成についても計算させる。</p> <p>⑤他にも消防や警察も有料になったり、医療費が増えたり、生活に影響があることを伝える。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>共働き世帯</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>608,497</td> </tr> <tr> <td>世帯主</td> <td>441,141</td> </tr> <tr> <td>配偶者</td> <td>137,767</td> </tr> <tr> <td>勤め先以外の収入</td> <td>29,580</td> </tr> <tr> <td>非消費支出（社会保険料や税金など）</td> <td>111,454</td> </tr> <tr> <td>手取り収入</td> <td>497,037</td> </tr> <tr> <td>消費支出合計</td> <td>335,859</td> </tr> <tr> <td>食料</td> <td>75,042</td> </tr> <tr> <td>住居</td> <td>16,915</td> </tr> <tr> <td>光熱・水道</td> <td>20,363</td> </tr> <tr> <td>家具・家事用品</td> <td>10,819</td> </tr> <tr> <td>被服及び履き物</td> <td>14,803</td> </tr> <tr> <td>保健医療</td> <td>11,125</td> </tr> <tr> <td>交通・通信</td> <td>54,455</td> </tr> <tr> <td>教育</td> <td>26,781</td> </tr> <tr> <td>教養娯楽</td> <td>33,082</td> </tr> <tr> <td>その他の消費支出</td> <td>72,474</td> </tr> <tr> <td>その他（預貯金や生命保険、借入金返済など）</td> <td>161,178</td> </tr> </tbody> </table>  <p>公立学校の児童・生徒1人当たり年種教育費の税金での負担額（平成29年度）</p> <p>小学生 約885,000円/年 1か月当たり 約73,800円</p> <p>中学生 約1,043,000円/年 1か月当たり 約86,900円</p> <p>高校生 約988,000円/年 1か月当たり 約82,300円</p> <p>義務教育9年間でかかる費用 小学生 約 885,000円×6年間=約5,310,000円 中学生 約1,043,000円×3年間=約3,129,000円 合計 約8,439,000円</p> <p>（参考資料：文部科学省「地方教育費調査」（平成29会計年度）） ※私立学校では、税金により教育費などの一部が補助されています。</p>	項目	共働き世帯	収入	608,497	世帯主	441,141	配偶者	137,767	勤め先以外の収入	29,580	非消費支出（社会保険料や税金など）	111,454	手取り収入	497,037	消費支出合計	335,859	食料	75,042	住居	16,915	光熱・水道	20,363	家具・家事用品	10,819	被服及び履き物	14,803	保健医療	11,125	交通・通信	54,455	教育	26,781	教養娯楽	33,082	その他の消費支出	72,474	その他（預貯金や生命保険、借入金返済など）	161,178
		項目	共働き世帯																																					
収入	608,497																																							
世帯主	441,141																																							
配偶者	137,767																																							
勤め先以外の収入	29,580																																							
非消費支出（社会保険料や税金など）	111,454																																							
手取り収入	497,037																																							
消費支出合計	335,859																																							
食料	75,042																																							
住居	16,915																																							
光熱・水道	20,363																																							
家具・家事用品	10,819																																							
被服及び履き物	14,803																																							
保健医療	11,125																																							
交通・通信	54,455																																							
教育	26,781																																							
教養娯楽	33,082																																							
その他の消費支出	72,474																																							
その他（預貯金や生命保険、借入金返済など）	161,178																																							
<p>4 感想を書く。</p>	<p>・ 私たちの暮らしと税P5、8</p>																																							
<p>終結</p>																																								

5 生徒の感想

- ・ これからの日本を支え、将来の子どもたちを育てていくために税金が必要だということが分かった。大人になって所得税を払うようになってからしっかり払う。自分に払った分、将来の子どものために使えるようしっかり働きたい。
- ・ 税金がないほうが負担が増えることが分かった。税金はなくてはならないものだし、生活していく上で大事なものと分かった。

- ・税金にいいイメージはなかったけれど、生活が楽になっているのだから納めなければだめだと思いました。
- ・税金を知っているつもりになっていたけれど、分からないことが多いと思った。もっと税金について知りたいと思った。
- ・税金にはどんな働きや役目があるのか、誰のために、どう使われているのかを改めて考え直すことができました。なぜ、納めなければならないのかを考え、これからしっかりと納めていかなければならないと思いました。
- ・安全に暮らすために税金が必要なこと、税金がないと救急車を呼ぶのにも大金がかかるので、税金がないと大変だと思いました。
- ・自分1人にもたくさんお金がかかっていたので、税金ありがたうと思った。
- ・税金がないと道路や橋などが整備されず、安全に生活できないことが分かった。
- ・税金の必要性は分かったが、使いみちが今のままで本当にいいのか考えることも大切だと思った。
- ・税金がないと義務教育の時でも、教科書にお金がかかるし、国が回らなくなるし、払わない方が負担が増えるので、税金は必要だと思った。
- ・税金を払っているから多く払っていると思っていた。でも、実は安くすんでいることが分かりました。町がきれいに保っているのも税金のおかげだと思いました。

6 成果と課題

- 小学校のときに見た税の DVD を思い出しながら、税の必要性を考えることができた生徒が多かった。
- 税金の使いみちを理解させることができた。
- 税金が自分たちの生活にどれだけ影響があるかを考えさせることができた。
- 税金に対してのイメージが悪いものから必要なものと変わる生徒が多かった。
- 納税者としての自覚や税について知りたいと考える生徒が増えた。
- 税金がなかったら、水道代や消防車を呼ぶお金などもう少し具体的な数字を上げられたほうがイメージしやすかったと思う。
- 休校期間があり、進度の調整が難しかった。
- 新型コロナウイルスの影響でグループ活動ができなかった。